

### 【本誌の引用について】

本誌に掲載された論文・報告の他論文への引用については、基本的に以下のような形式でお願いします。短報における著者が複数の場合は、上から順に列記となります。なお、年号の表記スタイル等は、掲載誌の記載様式に合わせてください。

野村周平, 2011. 東京都三頭山「檜原都民の森」でバナナトラップにより採集した甲虫類. さやばねニューシリーズ, (1), 1-4.

Nomura, S., 2011. The beetle species collected by Banana traps from Mt. Mitôsan (Hinohara-tomin-no-mori), W Tokyo. *Sayabane N. S.*, (1), 1-4. (In Japanese, with English title.)

## さやばねニューシリーズ 投稿規定

1. 本誌は、甲虫に関する様々な知見を集積して、日本の甲虫界の発展に寄与するとともに、会員の知識の向上や情報の共有に資するほか、会務報告等を行うことを目的とする。
2. 本誌には、甲虫に関するレビュー記事、和文の原著論文や報文、解説、地域甲虫相、分布記録（短報）、随筆、採集記、採集地案内、書評、文献紹介、追悼文などを投稿することができる。地域甲虫相については、単なるリストではなく、考察や解析を主体とするものが望ましい。ただし二重投稿は禁止する。
3. 投稿者は本会の会員であること。ただし編集委員会からの依頼原稿はこの限りではない。著者が複数の場合、少なくとも1人は会員であること。
4. 報文は日本語を原則とする。
5. 新分類単位の創設や分類学的措置（新結合・同物異名・異物同名等）を行う原稿は、本誌では受け付けないので、欧文誌へ投稿されたい。
6. 原稿の長さは刷り上がり10ページ以内とし、超過分の印刷費は著者負担とする。
7. 著者には、無料で電子版別刷（PDFファイル）を配布する。なお、希望者には全額著者負担で別刷を50部単位で作成する。

### 原稿の校閲

8. 原稿の採否は、原則として編集委員会が決定する（編集査読）が、必要がある場合には外部識者の査読を経る。原稿の内容については、査読者の意見に基づき著者に訂正や再検討を求めることがある。また、本誌体裁と著しく異なる原稿は、原稿受領前に訂正を求めることがある。

### 原稿作成要領

9. 文体は「である調」を基本とし、現代仮名づかいで平易に表現する。
10. 句読点は、本文中では「」（全角カンマ）および「」（全角ピリオド）を用い、「、」や「。」は使用しない。英数字は半角を用い、全角英数字を使用しないこと。
11. 原著論文原稿は、表題、著者名、著者の所属機関とその所在地（住所は詳しく記述）、英訳した表題と著者名、本文、文献の順に配列し記す。著者に連絡がとりやすいようにメールアドレスも出来る限り記載する。なお、原著論文には英文のサマリーやアブストラクトも付けることができる。
12. 原著論文以外の原稿（短報、レビュー、解説等）は、表題、本文、文献の順に記し、末尾に著者名、所属機関とその所在地（住所は詳しく記述）を記す。希望者はメールアドレスも記載することができる。
13. 採集データの略記法、文献の引用の仕方などは、英文（欧文）誌に準じるが、実例はホームページ（フォーマットとしてワードファイルを掲載）と本誌を参照の事。
14. 投稿は原則として電子投稿とし、ファイル形式はMSワードとする。原稿は、HP上のワードファイルの書式を利用して作成し、メールの添付ファイルで投稿すること。なお、電子投稿が困難な場合は紙媒体等による投稿も受け付けるが、FDやCD等で電子ファイルを同封することが望ましい。

15. 付図をデジタルデータ (TIF, jpeg, BMP等) で投稿する場合は、カラー写真なら300dpi以上、白黒写真や線画なら600dpi以上の画質が望ましい。プリントした写真や手書きの原図で投稿する場合には、それらをレイアウトして厚紙の台紙に貼り付け、付図番号を記入したトレーシングペーパーでカバーをつけること。付図等の返却が必要な場合は、投稿時に申し出ること。
16. 付図がカラーの場合は原則的にカラーで掲載するが、編集の関係上、編集委員会の判断で白黒掲載する場合もある。
17. 本誌はB5判出版物であり、図表類は高さ210mm (ただし図表タイトル込み)、幅140mmに収まるように作成すること。コピー等で大きさをあらかじめ確認し投稿することが望ましい。
18. 編集はIn Designを用いて行うので、直接In Designでの投稿を希望する著者は、編集委員長宛フォーマット用ファイルを請求すること。

### 原稿の投稿宛先

投稿先および本誌に関する質問は下記の通り。

〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学農学部昆虫学研究室  
吉富博之 (和文誌編集委員長)

TEL: 089-946-9898, 電子メール: hymushi@agr.ehime-u.ac.jp

### 東日本大地震被災地の皆様

3月11日午後発生した東北地方三陸沖を震源地とする東日本大地震は、地震と津波により太平洋沿岸全域に大きな被害を及ぼしました。被災地には多くの会員とご家族がお住まいですが、この震災直後で電話もほとんど通じない状況であり、どうしたものか思案しているばかりです。また、学友の多くが皆様のご無事を案じておられることと思いますので、身边が落ち着いたときにどのような形であれ、ご近況をお知らせいただけると幸いに存じます。それまでは心より皆様のご健勝であられることを念じております。もし不幸にして被害を受けられた皆様には、深くお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧および復興を心よりお祈り申し上げます。

2011年3月14日 日本甲虫学会会長 新里 達也

### 昆虫学研究器具は「志賀昆虫」へ

日本ではじめて出来たステンレス製有頭昆虫針00, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6号, 有頭ダブル針も出来ました。その他、採集、製作器具一切豊富に取り揃えております。

〒142-0051

東京都品川区平塚2丁目5番8号

郵便振替 00130-4-21129

電話 (03) 5858-6401 (ムシは一番)

FAX (03) 3784-6464

(カタログ贈呈) (株) 志賀昆虫普及社

### ◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>

### さやばね ニューシリーズ 第1号

発行日 2011年3月30日

次号は2011年6月下旬発行予定

発行者 新里達也

編集者 吉富博之 (委員長), 谷角素彦, 小島弘昭,  
奥島雄一, 中峰 空, 片山雄史

発行所 日本甲虫学会

〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-23-1

国立科学博物館動物研究部

電話 03-3364-2311

原稿送付先 (さやばねニューシリーズ) 吉富博之

愛媛大学農学部環境昆虫学研究室

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

電子メール: hymushi@agr.ehime-u.ac.jp

印刷所 原印刷株式会社

年会費 2011年度 8,000円 (一般会員)

郵便振替口座番号 00880-2-190472

ホームページ <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>